

2020年度 日本工学院八王子専門学校											
コンサート・イベント科											
コンサートプロダクト1 PAコース											
対象	1年次	開講期	前期	区分	必	種別	実習	時間数	240	単位	8
担当教員	床鍋 隆			実務 経験	無	職種					
授業概要											
<p>基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。</p>											
到達目標											
<p>基礎実習ローテーション期間中は、ケーブル・コネクタの種類や名称などを知り、PAの基本的な配線ができるようになる。基本的なフェーダー操作を覚え、簡単な台本に沿ったミキシング操作ができるようになる。コース選択後はアナログコンソールの詳しい仕組みとエフェクターを学び、カラオケミキシングができるようになる。最終目標は2バンドのステージ転換とスピーカーチューニング・ミキシングができるようになる。</p>											
授業方法											
<p>基礎実習ローテーション期間中は基本的な音響機材の仕込み作業(コネクタの種類や名称、ケーブル巻、機材の配置配線、音量操作など)を学びます。コース選択後はコンサートPAスタッフとしての必要な知識の理解をはじめ、より詳しくアナログコンソールのしくみや各音響機器の設置配線やミキシング操作を片柳記念ホールで行います。</p>											
成績評価方法											
<p>*積極的な授業参加度、授業態度によって評価する。 *グレードテストを定期的に行う。 *授業内容の理解度を確認するために実施する。</p>											
履修上の注意											
<p>授業時数の4分の3以上出席しないものは評価しない。実習やゼミで一度行っただけでは、自分に身に付くはずはないので必ずメモを取る事。そのメモは授業などで使うノートではなく、携帯に便利な小型のメモ帳を推奨する。メモの取り方の注意は、後日自分で確認した時に確実に理解出来るように心掛ける。分からない事、自信がない所は積極的に質問してその場で解消できるようにする。</p>											
教科書教材											
資料を配布する。参考書・参考資料等は、授業中に指示する。											
回数	授業計画										
第1回	基礎実習①：コネクタの名称とケーブル巻き、機材の取り扱いが理解できる										
第2回	基礎実習②：マイクスタンドの取り扱いと機器の接続ができ、音が出せるようになる										
第3回	基礎実習③：マルチケーブルとジャンクションボックスの取り扱いと、フェーダー操作ができるようになる										

第4回	基礎実習④：台本に沿ってマイクロホンと音楽のバランスをとることができるようになる
第5回	基礎実習⑤：大規模音響システムを使ってミキシング体験ができる
第6回	基礎実習グレード試験：照明実習（照明の配線と吊り込みができる）
第7回	基礎実習グレード試験：PA実習（ケーブル巻き・マイクスタンドの扱いができるようになる）
第8回	基礎実習グレード試験：舞台実習（平台・箱馬を使ってドラム台の製作ができる）
第9回	コース別実習開始 基本的なPA機材の理解①ミキシングコンソール インプットモジュール～ステレオアウトの仕組みが理解できる。
第10回	基本的なPA機材の理解②：ミキシングコンソール グループマスターモジュールの仕組みが理解できる
第11回	基本的なPA機材の理解③：ミキシングコンソール AUX回路・MTR回路の仕組みが理解できる
第12回	基本的なPA機材の理解④：PAスピーカーの仕組みと音出しが理解できる
第13回	基本的なPA機材の理解⑤：ミキシングコンソール 音量、音質の設定ができる
第14回	イベント①(ボーカルチャレンジ①)：カラオケ・ボーカルミキシングのセッティング・リハーサルができる
第15回	イベント②(ボーカルチャレンジ②)：カラオケ・ボーカルミキシングの本番ができる